

## 各委員より（障害者施策の課題等について）

主なご意見
<p>・ 障害者の高齢化が進み、介護保険への移行が増加している状況で、要介護認定と実際の障害の状況との隔たりがあり、適切な支援が出来ない場合や受けられない状況が今後増加することが考えられる。現行障害者を受け入れている施設（居宅系・施設系）が継続して援助できるように新たな仕組みが必要ではないか。</p>
<p>○本人、家族の高齢化による課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住まいの場 自宅に住み続ける場合の支援（見守りからサービスへ） グループホームの拡充（医療的ケア）</li> <li>・ 日中活動 就労継続支援B型からの移行の場</li> <li>・ 短期入所</li> <li>・ 地域生活支援拠点</li> </ul> <p>・ 高齢の親は、本人の高齢化による変化を見過ごしやすく、環境を変えることを嫌がる。本人の状態が変わっていても、若いころから通っていた作業所以外を知らうとしません。本人の自立を考えるべき時に、まだ措置という時代であったことや社会資源が整っていなかったことも、その理由になっている。</p>
<p>・ 障害者グループホームの整備が必要だと考えられるが、バリアフリー条例等の制約が大きくて建設用地が限られることと、建設コストが高くなる状況。区独自の条例変更を行い、安全を確保しつつ施設整備を効率的に進めることは出来ないか。</p>
<p>・ 障害者相談支援事業について、介護保険同様とまででは無くもう少しプラン・モニタリング費の増額は出来ないか。介護と違い、非常に長い期間（0歳～高齢期）をマネジメントする事から、調整（本人・家族・関係機関・サービス事業者）にも大きな負担がある。財政面での負担が膨らむが、今後の障害者施策として捻出するための工夫や社会保障全体での効率化を取組み、中長期に検討する必要があるように思う。</p>
<p>・ 街をきれいにするための公園清掃などは、健常者ばかりで、障害者はほとんどいません。障害者は差別されて解雇される事態がおきています。公園清掃などは障害者を理解していただく業者にしていただきたい。</p> <p>清掃等は、区別なしのできる仕事で、障害者高齢者・弱者の仕事で自立できる仕事で、地域を守りたいと思う。</p> <p>心のバリアフリーが大切。地域社会に障害者・弱者を理解していただきたい。障害者・高齢者弱者に、男女問わず、就労している方に配分し、健康のために、働きやすい職場で自立して行く「みどりの・まちづくり」を未来に向かって希望します。</p>

- ・特別支援学校3年生における練馬区立施設を利用するまでのながれについて（実習希望や施設利用希望の申し込みについて）
- ・就労準備就労アセスメントのながれについて  
（実習時期や申し込みについて）

・前期も参加していたが、自立支援協議会の到達点が見えにくいと思う。抽出された課題について、専門部会や全体会で報告するだけでなく、どのような仕組みがあったらよいか、どんなことができるか、地域、現場で活用できるもの、仕組みとなることが重要だと思う。障害者計画等に盛り込むことができればよいが、それほど大きなものでなくても、区内の現場や地域でヒントにつながるものが生み出せると良い。